

# 東北のあつ時報

行發日五廿日五月毎  
吉梅越堀 行發兼輯編  
町銀白北市平縣島福  
社報時工商北東 所行發  
六 警 川 古  
圓 一 金 行 一 料 告 廣  
錢 十 部 一 錢 卅 金 月 ケ

## 初平市議選 にのぞみて

平市の初市議員選挙もあ  
と昨日に迫り立候補遂に五  
十一名を突破し空前の一大  
激戦を果して誰が最後  
の榮冠を占めてゴールに  
飛び込むか興味ある問題で  
ある

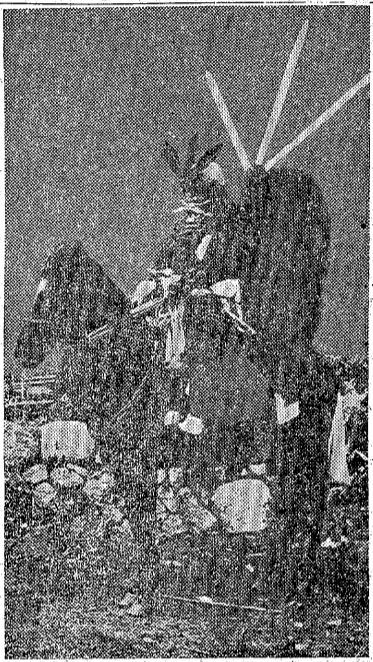
ものである願望實現の第一  
歩は来るべき選挙は自覺せ  
に待つものである

## 天下の奇祭

### 相馬野馬追祭

來る七月十一日より三日間

元龜天正の昔を今に見る  
相馬野馬追祭も愈々十一日  
折柄市としての各種の計畫  
事業の實現は容易なるもの  
があるが併し、がら將來益  
々發展する平市の爲めに眞  
に政黨派を超越して努力  
せる才氣洗練された人物を  
市議に選挙される事を望む  
ものである



(將大總祭大追馬野)

政權の享樂と其争奪とに心  
をさらはれず對策問題には  
局部的療法のみでなく待望  
せし市制施行された今日市  
民の福祉と大平市の商工業  
地として市政の爲めに正し  
く明るい自治、躍進途上の  
平を何處までも伸したい。  
これ吾々市民の衷心よりの  
願ひである最も深刻なる苦  
痛に最も堪え得る者は偉大  
なる政治家であり、かゝる  
彼等の堪へつゝある苦惱の  
結晶こそやがて國家社會進  
展の礎石を準備しつゝある

ものである願望實現の第一  
歩は来るべき選挙は自覺せ  
に待つものである

元龜天正の昔を今に見る  
相馬野馬追祭も愈々十一日  
折柄市としての各種の計畫  
事業の實現は容易なるもの  
があるが併し、がら將來益  
々發展する平市の爲めに眞  
に政黨派を超越して努力  
せる才氣洗練された人物を  
市議に選挙される事を望む  
ものである

## 海水浴と避暑地めぐり

子供も大人も喜ぶ夏の休暇  
が来る。  
さて今夏の旅は海水浴は、  
避暑は何處にきめようか？  
一番近くて、交通便のよい  
ところ、人情純朴で物價が安  
くて、その上風光よい理想  
郷を求めよう。

## 濱屋旅館

豊間海岸

静養と絶景  
共に加りつつあり。  
旅館に達するを得る便利の  
地點にある  
全海岸は遠淺して波浪静で  
あり而も風光明媚を極め赤  
沼海岸を距て、半圓形を劃  
ける突端には白亜の高峯豊  
於ける優越なる旅館である  
有名な鹽屋崎の燈臺、二見  
十數町にして久之濱田の  
ケ浦あり波浪静かにして老  
幼も遊浴を權にする事を得  
相携へて此の勝景を採り海  
水砂浴の偉効を満喫し而も  
新鮮なる魚介に食膳を賑は  
すの興趣に接し一日の清遊  
よく勞苦を慰する宿料は低  
廉なり

## 一人二物三素三描

古川生

## 金成淺治氏

躍進途上にある石城郡好間  
村は日、一日として伸び行  
く、黒ダイヤの天地は夙に  
天下に其の名を知られ有名  
である、それに誇り得るも  
のに名村長として金成淺治  
氏の健在である、氏は努力  
家働く人としてこつこつと  
農村更生に亦  
工業に産業に  
村民の福利増  
進を圖り過  
数年間終始  
た氏の功績は  
甚大であら

## 柏屋旅館

常磐線四倉驛より數分にて  
設備並に宣傳に努力して  
は夙に指定地として諸般  
近に知らる  
常磐線中屈指の海水浴場と  
して知られ鐵道直仙臺局  
は夙に指定地として諸般  
設備並に宣傳に努力して  
は夙に指定地として諸般  
近に知らる

## 強口唯七郎氏

濱三郡を中心として土木事  
業界の覇者を以て目せられ  
自他共に第一人者の定評を  
許さる氏は双葉郡大久村  
小久の片田舎より遠大の心  
を抱き可憐な美少年より故  
郷を飛び出し土木事業界に  
身を投じ今日の榮冠を贏ち  
得た事は氏の奮闘力の賜物  
であらう、一見無難作の如  
く見えるが、どうしてなか  
く細心のひらめき鋭く發  
揮する自我實現の哲學を鮮  
やかに持つところに氏の獨  
特の味ひ言ひ得る亦氏は十

## 酒は近盛

この酒は夙に酒の中の酒と  
して飲み心地よく酔ひ心地  
よく断じて二日酔せぬ生一  
本で酔後も決して熱柿臭い  
悪臭がない、今の時代は風  
味高雅にして最も酔ひ飲み  
心地よくうまい酒を要求す  
る「酒は近盛」は時代の要  
求にピッタリ合ふ天下の美  
酒としていつの間にか「  
酒は近盛」に限ると折紙を  
つけられ今やごこの家庭に  
もまたどの宴席にもなくて  
はならぬ美酒として愛用さ  
るるやうになつた。  
「酒は近盛」は品質無敵純  
良なる高級酒として味覺の  
王洗練されたる美味として  
天下の好評を博するに至つ  
た因に「酒は近盛」の醸造  
元である石城郡内郷村馬目  
太平次氏は村會議員の要職  
にあり村治の爲めに盡力さ  
れてゐる

## お知らせ!!

開成山秋競馬  
秋の郡山開成山競馬は十月  
二日から四日間開くことに  
決定した  
勿來に公會堂  
石城郡勿來町では工費二萬  
八千圓を投じ公會堂兼講堂  
の新築を計畫中であつたが  
三日午前十時起工式を舉行

## 暑中御伺

次號の人物素描  
に紹介する人々  
菊地四郎氏  
庄司卷造氏  
大井 勇  
服部梅雄  
矢野丑男  
木澤常吉  
齋藤睦郎  
金成國雅  
新妻唯祐  
鈴木辰秋



(比治淺成金)

小名濱町	渡邊村長	村上遠野	合戸村助役	消防組頭	好問村	好問村	小學校長	礦會社社長	礦會社社長	礦會社社長	常磐炭礦業	赤井村福島	炭礦會社社長	入遠野村長	內郷村	內郷村	川前村助役	川前村長	川前村長	勿來町長	前縣會議員	田信用組合長	湯本町長	植田町長	四倉町長	臨時平市長	全	縣會議員	前代議士	貴族院議員		
太永	櫛阿	渡吉	小川	菊	鈴	金	沼	矢	永	橫	鷺	石	古	新	青	小	小	佐	金													
田山	田部	邊	田	瀨	地	木	澤	田	內	山	山	川	川	妻	沼	松	野	藤	成													
勝秀	末次	友	庄太	幸	德	爲	爲	濱	安	忠	太	清	德	傳	鋒	太	晋	庄太	成													
康定	郎陸	清	郎治	治	郎	吉	喜	助	藏	二	一	昇	壽	一	盛	郎	章	平	郎	通												

遠藤	坂本	協坂	大野	渡邊	星	鹿島	鹿島	若松	相良	鹿島	高平	高平	石神	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部	磯部
正	梅	綱	政	美	網	茂	一	藏	郎	源	榮	太郎	治	兵	衛	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治

浪江町	長塚村	新山町	新山町	新山町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町	原町
佐藤	石川	半谷	古山	佐藤	村	松本	七十七	常陽	星材	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤

小泉	鈴木	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀	志賀
浩	康	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉	哉

小野	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木	高木
平	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保	保

<p>植田町 秋山材木店 電話六二番</p>	<p>平市三丁目 大津賀善吉 電話二三番</p>	<p>御料理 末廣</p>	<p>織田齒科醫院 電話四一六番</p>	<p>平市南町 鈴木定藏 電話六四一</p>	<p>平市田町一番地 重田眼科醫院 (元福島貯蓄銀行跡)</p>	<p>釜屋商店 縣城セント會社特約代理店 三井生命保險平代理店 電話九番九〇九番 東京振替口座一〇九五</p>	<p>關内藥局 藥劑師 關内 榮助 平四丁目 電話四〇番</p>	<p>皮膚科・泌尿科 性病科 花柳病科 醫學博士 江尻伊三郎 平市出町 電話六九番</p>
--------------------------------	----------------------------------	-------------------	--------------------------	--------------------------------	--	---	--	---